

「若手泌尿器科研究者のための泌尿器がんに関する トランスレーショナル研究助成」応募について

応募要項

1. 助成の趣旨

泌尿器科がんに関するトランスレーショナル研究を行う若手の研究者を育成する事は、日本泌尿器科学会（以下「本学会」という。）として極めて重要な事業と考えている。本事業の推進は、新たなシーズ開発を促し、研究者本人のみならず本学会、ひいては我が国全体の研究レベルの底上げに繋がるものとする。

2. 助成対象

- (1) 本学会の正会員であり、4年以上の基礎研究を有する満35歳～満40歳（申請年度末（2023年1月末）時点で）とする。
- (2) 同一施設からは1件のみの応募とする。
- (3) 単独・共同研究何れでも良いが、申請は単独とする。
- (4) 外国で行う研究は、対象外とする。

3. 制限事項

本研究助成は、あくまで泌尿器がんに関するトランスレーショナル研究に対するものであり、通常の臨床研究や基礎的研究を対象とするものではなく、臨床へのフィードバックが強く期待される研究を対象とするものである。なお、薬剤を用いた介入研究、サノフィ株式会社が資金提供している医師主導研究や共同研究は対象外とする。

4. 研究助成金額および件数

1件 200万円 計3件

5. 研究助成金交付の対象となる経費

研究に要する物品の購入費用その他の研究推進に必要な費用とする。なお、研究機関または研究室全体の間接経費・一般管理費は認めない。

6. 推薦者

応募者が所属する施設あるいは研究機関の所属長とする。（例：主任教授、部長等）推薦者1名につき、1件までの推薦とする。

7. 応募方法

必要事項を記入した申請書（用紙は、本学会ホームページの会員専用ページからダウンロードする）をPDF化し、メール添付にて、日本泌尿器科学会 学術委員会（E-mail: gakujutsu@uro1.or.jp）に送信する。

申請書に字数や発表論文数等の制限が明記されている項目は、それを遵守し、字数制限については文末に合計文字数を記載すること。何れも超過した場合は審査対象外とする。

※ヒト検体の使用を含む研究に関しては、倫理事項について記載すること。

8. 応募期間

2022年12月1日（木）～2023年1月31日（火）17時 メール着信締切り

9. 選考方法

本学会の学術委員会に於いて選考規程に基づいて選考の上、理事会で決定する。

10. 採否の通知

2023年3月末頃に応募者と推薦者宛にメールで通知する。

11. 助成金の交付式

2023年4月に執り行い、交付決定者は本学会 Web サイトに掲載する。

12. 研究助成金の使途

- (1) 研究助成金は、申請書記載通りに使用することを原則とする。
- (2) 万一途中で使途を変更する場合には、その旨あらかじめ申し出て本学会学術委員会の承認を求めること。

13. 収支報告

交付された者は、2024年3月31日までに収支報告書を提出すること。(詳細別途案内)

14. 研究成果の報告

- (1) 交付された者は、第111回日本泌尿器科学会総会で、その研究成果を発表する。
- (2) 研究成果については、2024年1月31日(必着)までに研究の概要を800字~1,200字にまとめ、本学会学術委員長宛に報告書をメール添付にて提出すること。この報告書は、総会抄録集および泌尿器科学会会報に掲載される。
- (3) 本研究に関して発表の場合には“若手泌尿器科研究者のための泌尿器がんに関するトランスレーショナル研究助成の援助による”(Translational Research Grant of Urological Oncology) 旨を書き添えて、別刷り一部を送付すること。

15. 問合せ先

一般社団法人日本泌尿器科学会・学術委員会 宛

TEL : 03 (3814) 7921 / E-mail : gakuju@urol.or.jp